

～ 一日鳴門市長体験 ～



令和8年8月5日（水）

市内の小学6年生8名が参加し、鳴門市の行政や議会、まちづくりについて学ぶ「一日鳴門市長体験」を実施しました。

この体験は、子どもたちが行政・議会・市民による活動について学ぶことで、市政やまちづくりへの関心と理解を深め、ふるさと鳴門への愛着を育むとともに、将来のまちづくりに関わるきっかけとしてもらうことを目的に実施しています。

市長と名刺交換・懇談

まずは市長と名刺交換を行い、懇談しました。

少し緊張した様子も見られましたが、和やかな雰囲気の中で交流しました。



市長室や市役所庁内を見学

市長室では、市長の席に座る体験をしました。

その後、市役所庁内を見学し、普段は入ることのできない地下の免震構造や屋上を訪れました。

さらに、議場や議長室を見学し、議長・副議長とも名刺交換を行いました。





消防署で貴重な体験！

消防署では、救助訓練を見学したほか、屈折はしご付消防車に乗り、地上約 25 mの高さまで上がる体験をしました。
普段なかなかできない体験に、子どもたちは目を輝かせていました。



みんなで「一日鳴門市長おすすめ鳴門マップ」を作成

模擬協議体験では、鳴門市のおすすめの場所や魅力について、みんなで意見を出し合いました。それぞれの意見をまとめ、「一日鳴門市長おすすめ鳴門マップ」を作成しました。



議場デビュー！

最後は議場で、「私が鳴門市長になったら」をテーマに、一人ずつ自分の考えを発表しました。緊張しながらも、自分の考えを堂々と発表する姿が見られました。完成した「一日鳴門市長おすすめ鳴門マップ」も披露しました。



さまざまな体験を通して、子どもたちが鳴門市の行政や議会、まちづくりについて楽しく学び、ふるさと鳴門をより身近に感じる一日となりました。

